

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血者グリコアルブミン値の経年推移解析による糖尿病リスク要因の検討 (同上)
研究期間 (西暦)	2019年4月～2021年3月
研究機関名	血液事業本部 中央血液研究所
研究責任者職氏名	所長 佐竹正博

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

## 1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

糖尿病は国内で増加傾向であり社会的な問題となっていることから、日本赤十字社が保有する生化学検査データ等の献血者情報のビッグデータのうち、献血時の検査サービスに導入されてから2019年3月で10年が経過する血糖管理指標のグリコアルブミン (GA) に注目して解析を実施します。経年推移の解析等を実施し、糖尿病の発症に関わるリスク要因を明らかとすることで、国民の健康管理に有益な情報として還元することを目的とします。

## 2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液の種類：該当なし

献血血液の情報：年齢、性別、GA値、身長、体重、居住地（都道府県）、採血日、生化学検査及び血算の検査値 (ALT、 $\gamma$ -GTP、CHOL、Hb等)

## 3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

## 4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》年代、性別、地域別、BMI別にグリコアルブミン値を解析して特徴を明らかにします。

また、過去10年間の間に複数回献血をしている方のグリコアルブミン値の推移を解析します。グリコアルブミン値が増加している方々にどのような特徴があるかを統計的に調べて、グリコアルブミン値増加（糖尿病発症）のリスク要因をあきらかにします。

本研究は献血者情報のみを使用して実施する研究ですが、個人に繋がる情報は一切使用せずに解析を実施するため、個人への不利益はありません。

## 5 献血血液等の使用への拒否について

「献血時の同意説明書」にて、献血血液の研究使用に同意された方に限り研究を対象としています。使用する情報をシステムより抽出する前で、個人の特定ができる状態であれば研究使用への拒否が出来ます。ご自身の情報の使用をご希望されない方は下記にご連絡いただければ、その方の情報は削除して利用しません。

6 上記5を受け付ける方法  
下記の問い合わせ先にご連絡ください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	血液事業本部 中央血液研究所 研究開発部
担当者	研究支援担当 荒木威
電話	03-5534-7508
Mail	kenkyu1@jrc.or.jp